

★Raspberry Pi 用 GPS 拡張ボード GPSCAP

■GPSCAP 補足資料

Google Map での軌跡表示方法を解説します。

●概要

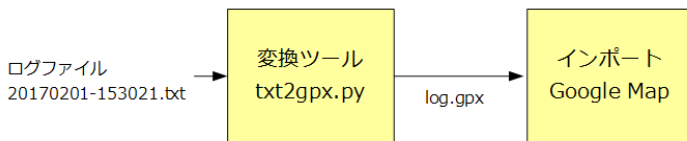
2ステップが必要です。

ステップ 1

GPSCAP のログファイルを txt2gpx.py を使って gpx ファイルに変換します。

ステップ 2

Google Map に gpx ファイルをインポートします。



●注意事項

- ・ Google のアカウントが必要です。
- ・ 一つのファイルで 2000 ポイントまで表示可能です。
- ・ 1 秒間隔のデータの場合、約 30 分までです。
- ・ 1 分間隔のデータの場合、約 30 時間までです。
- ・ 5 秒間隔のデータの場合、約 2.5 時間までです。
- ・ 10 秒間隔のデータの場合、約 5 時間までです。
- ・ データ数が多い場合、間引く必要があります。
- ・ Google Map が仕様を変更することがあり、将来にわたって動作保証するものではありません。

●データの間引き

GPSCAP ディレクトリにある omit.py で秒単位から分単位にデータを間引きます。入力ファイル = 20170201-191347.txt、出力ファイル = minute.txt の場合、次のように入力します。

```
$ ./GPSCAP/omit.py < 20170201-191347.txt >  
minute.txt
```

omit5.py は 5 秒単位にデータを間引きます。
omit10.py は 10 秒単位にデータを間引きます。
移動速度に応じてデータを間引くとよいでしょう。
速い移動の場合は短い間隔、遅い移動の場合は長い間隔にします。

●詳細

GPSCAP ディレクトリにある txt2gpx.py でファイル変換をします。入力ファイル = minute.txt、出力ファイル = log.gpx の場合、次のように入力します。

```
$ ./GPSCAP/txt2gpx.py < minute.txt > log.gpx
```

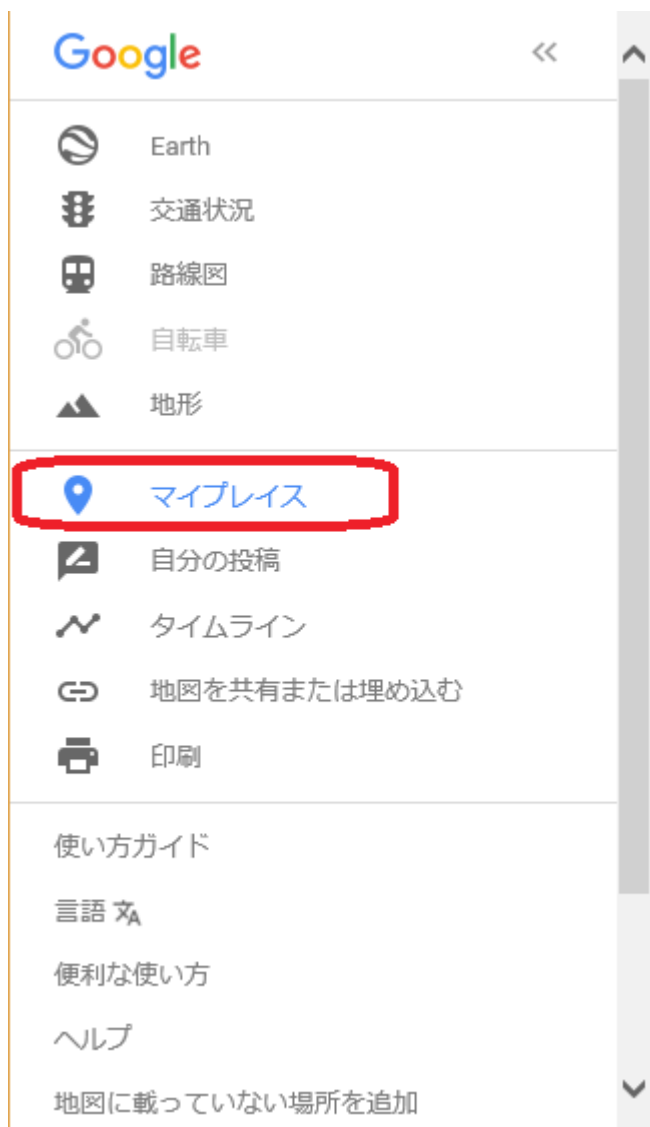
もちろんデータを間引きしないで、GPSCAP のログファイルをそのまま変換することもできます。

Google Map を開きます。

<https://www.google.co.jp/maps/>



「メニュー」から「マイプレイス」を開きます。
このときログインが必要です。



「マイマップ」を開き、「地図を作成」を開きます。



「無題の地図」をクリックし、名前を変更します。自動的に軌跡を表示します。

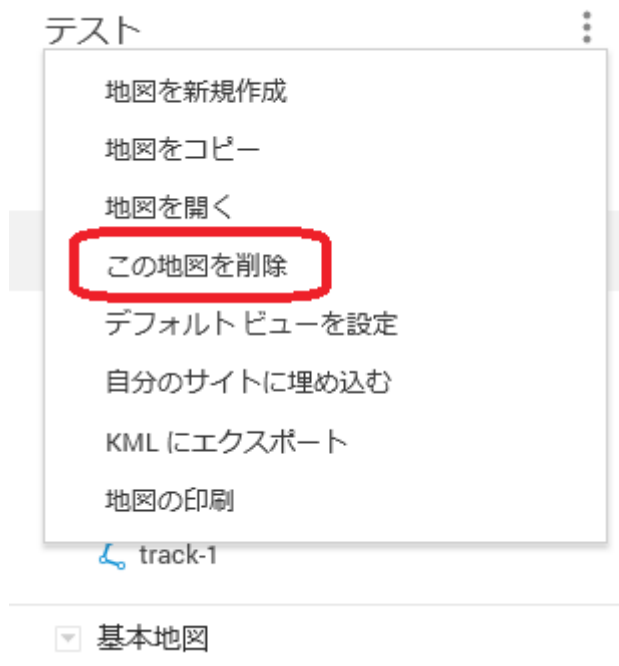


「インポート」を開き、gpx ファイルをドラッグ & ドロップします。

マイマップのリストに反映されるには少し時間がかかります。



地図の削除は「メニュー」から「この地図を削除」します。



あるいは「マイマップをすべて見る」を開き、「メニュー」から「削除」します。

■あしがき

このたび企画、開発、調整など総合プロデュースしました。日経BP社とビット・トレード・ワンさんに多大なご協力をいただき感謝します。次回もお楽しみに。

■著作権と免責事項

個人利用に限定され、著作権者の許可なく商用利用できません。直接間接にかかわらず、いかなる損害も筆者は責任を負いません。

GPSCAP (C)2017 All rights reserved by Y.Onodera